

議会だより編集委員会 研修会 に参加

11/2 待たれる議会だよりに

5月に続き、2回目の議会広報研修会に全員で参加・学習をしてきました。タイトルで内容を読みたくなるものに、人物写真の活用、読者の参加等、毎回研修のたびに新しい発見があります。一般質問も1人1ページ使えと期待される、「待たれる」議会だよりを目標に……と。今後に生かしたいと思えます。

ふれあい広場 10/28 盛大に開催

議員団は、受付や来場者のアンケートで協力

「寄居町ふれあい広場」が、51団体協力のもと、かわせみ荘で盛大に開催されました。「広げよう ふれあい・やさしさ・思いやり」をテーマとした催しで、今回で26回を数えています。当日は、あいにくの冷たい雨となったにもかかわらず、約3000人と多くの方々にご来場をいただきました。会場では探検ゲームでの丸太切りやバルーンアートの披露など、いろいろなイベントでにぎわいました。福祉バザーでは、皆様から寄贈いただいたものを販売し、多額の収益を上げることができたということです。当日、議員団は受付や来場者の聞き取りアンケートなどに協力させていただきました。ご協力ありがとうございました。



雨の中、約3000人が来場



新しく生まれ変わったJR用土駅

JRの土地を買い取り、花を植えては



おかもとやすあき 岡本安明 議員

答弁→ 必要に応じ、東日本旅客鉄道株式会社と協議します

JR用土駅

問 JR用土駅、用土コミュニティステーションの竣工式が、昨年10月に盛大に挙行されました。このすばらしい施設を、より有効に活用するために提案します。

JR用土駅東には、長さ約150メートル、幅約10メートル、面積1617.5平方メートルのJRの土地が隣接しています。この土地は、以前にJR用土駅で列車の交換に使っていた複線部分の土地です。JRでは使用しないため売りに出していますが、いまだ買い手がついていないとのこと。

そこで、この土地を借用もしくは買い取って、桜や花を植えたいかがでしょうか。JR用土駅、用土コミュニティステーションは、屋根の形状は桜の葉をイメージし、壁画や床面には桜の花びらを形取ったモザイクを施すなど、用土地域の特色である豊かな花や緑を強く意識したデザインとなっています。150メートルの桜並木ができれば、「花植木の里・用土」の観光スポットになること間違いなしです。

桜や花の植栽には、地元の人たちや、町内で桜の植栽をボランティアで行っている「荒川グリーン」に、協力をお願いしたいかがでしょうか。

JR用土駅は1日の乗降客100人程度のローカル駅ですが、桜や花を植えることにより地元の人々も楽しみ、列車の乗客も窓の外すぐ横に桜や花があることに驚くと思います。後日再び訪れたり途中下車するかもしれません。仕掛けることで乗降客の何倍もの人を駅に呼べると思いますが、いかがですか。

答 地元の皆様の協力が大切と考えています。今後、地元関係皆様の意向を踏まえ、必要に応じ、東日本旅客鉄道株式会社と協議していきます。

救急医療体制…休日や夜間の診療体制は、比較的軽症な「初期（1次）救急」、入院を必要とする「2次救急」、脳卒中など命にかかわり早期に高度な治療を必要とする「3次救急」に役割分担されています。



熱心に聞き入る子どもたち

なぜ今「絵本と童話の森公園」が必要か



つくいやすお 津久井康雄 議員

答弁→ 新たな機能・サービスが必要と考えています

問 先日の新聞に「県立図書館は現在、浦和、久喜、熊谷の3カ所にあるが、久喜図書館を閉鎖して浦和と熊谷の2カ所にする」という報道がありました。寄居町の町立図書館は近隣市町村の図書館と比較しても蔵書数及び内容等が充実していると思います。今なぜ寄居町に「絵本と童話の森公園」が必要なのか伺います。

答 社会動向を踏まえ、新たな機能・サービスが必要と考えています。

問 「社会動向を踏まえ」と答弁がりましたが、どのようなことなのか伺います。

答 近年家族のきずなが薄れ、毎日のように家庭内でのトラブルが報道されています。要因は家庭内のふれあい不足にあり、行政としてそのような事件を減らす努力が必要と考えています。また人口減少期に入り、人口確保のために今後ますます都市間競争が激しくなると思われるので、子育てに力を入れ、特色ある町の魅力づくりをしたい。

今後、ホンダ寄居工場、資源循環工場第2期事業の稼働、寄居PAスマートインターチェンジ開設等を生かしながら、多くの皆様に町を回遊していただけるような施設づくりが必要と考えます。

「絵本と童話の森公園」は必要か

問 町民からほかにも請願等があります。今の社会動向を見ると、「絵本と童話の森公園」は町民が望んでいたものか、今必要なのか疑問に思います。今後の計画について伺います。

答 現在、調査を実施していますので、適切な時期にご報告をと考えています。

常備消防…消防業務を行うための市町村の機関には、常備消防と呼ばれる消防を職業としている消防本部及び消防署と、非常備消防と呼ばれる、日頃は生業を営みながら、いざというときに消防活動を行う非常勤の公務員である消防団があります。

常備消防に携わる職員数は



はらくちのぼる 原口昇 議員

答弁→ 寄居分署は17名です

問 急速な高齢化社会を迎える今日、救急車の出動は日増しに増え続けており、中には不要・不急な通報もあり大変困っているとのこと。また救急車は来てくれたが、受け入れてくれる病院を探すのに長い時間待機した事例もあったようです。現在、常備消防に携わっている職員は何名いますか。

答 全体で224名、そのうち寄居分署に17名の職員がいるとのこと。

問 深谷消防全体の予算と寄居町の委託料の額について伺います。

答 深谷消防予算は約20億円。寄居町委託料は5億3161万9000円です。

深谷市に委託した根拠は

問 当町において常備消防を深谷市に委託した根拠は何ですか。

答 平成18年、現在の深谷市が誕生する際、寄居地区消防組合が解散したため、深谷市に委託しました。

問 南岸地域に分署を考えていただけませんか。また、当町で常備消防単独の考えはありますか。

答 現在考えていません。広域化により消防機能高度化が図られることから、常備消防を単独で設置する考えはありません。

問 救急病院として受け入れている病院、また夜間での受け入れ態勢は万全なのですか。

答 熊谷保健所管内では11の病院が救急病院の認定を受けています。町内には埼玉よりい病院があります。夜間の受け入れは初期から第3次までの救急医療体制で対応しています。

常備消防

絵本と童話の森公園